

教務報

- 1~30日 にをいかけ強調の月
- 5日 大教会秋季霊祭
- 7日 おちば伏せ込み団参(午前中)
- 7~14日 青年会全分会布教推進週間
- 12日 おとまり会(岡隊・飛鳥川隊)
- 13日 婦人会委員会
- 15日 大教会伏せ込みひのきしん(道弘)
- 福門分教会創立百周年
- 21日 大教会伏せ込みひのきしん(相嘉)
- 22日 事務局会議 役員会議
- 祭典準備ひのきしん
- 22~23日 大教会伏せ込みひのきしん(表野)
- 23日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭 家族参拝デー
- 23~26日 婦人会詰所ひのきしん
- 24日 教会長夫妻教理研鑽(みかぐらうた)
- 各分会・各委員会
- 大教会伏せ込みひのきしん(東松浦)
- 25日 おちば伏せ込み団参(早朝)
- 詰所運営委員会
- 「教祖を身近に」史跡見学

立教177年9月

- 26日 本部月次祭 祭典後お礼づとめ
- お運び(岡萩分教会)
- 28日 教会長路傍講演の日
- 28~30日 全教一斉にをいかけデー
- ◇教養掛(9月)
- 上橋 藤本 健二
- ◇修養科第877期修了者(7月27日)
- 忍海 岡橋 武
- 鳥飼 古川 裕己
- 紫王路 西村 悦子
- ◇別席願(7月16日~8月15日詰所受付分)
- 表田 上田 理貴
- 大博 中溝 香奈
- 北有明 片淵 仁美
- 鶴城 比良松 陽気
- 西大阪 宮本 大輔
- 福門 宮原 千亜希
- 道弘 高野 楓
- ◇おさづけの理拝戴願
- (7月16日~8月15日詰所受付分)
- 鳥飼 古川 裕己

瀧登分教会の6月の月次祭。地方を勤める上級教会の常道久雄会長(岡瀧分教会)の「みかぐらうた」は、いつも以上に明るく勇んでいた。そして、それに合わせて唱和する瀧登分教会(常道豊子会長)会長夫妻の声もまた、明るい。

それもそのはず。今年5月に瀧登分教会に新たなようぼくが一人誕生し、月次祭のおてふりの手6人が初めて揃ったからだ。当日の祭典では、会長夫妻を含むおつとめ衣をつけた奉仕者一同が、喜び心いっぱいにおつとめをつとめた。

常道会長が教会を預かったのは、21年前の平成5年。「教会らしいことができないから」と、断ったこともあったが、「あまり深く考えないタイプだったのでお受けした」と常道会長。夫の登美雄さんが仕事をしていたため、「夫が定年を迎えるまで、代わって会長を勤めさせていただけ」と、二人三脚の歩みが始まった。

教会を預かって5、6年経った頃のこと。大教会から「おさづけカード」が配布されており、「教会を預かる者として、私は絶対に逃げない」とにをいかけに歩いてきた。そ



心勇んだ月次祭

天理教瀧登分教会

んな時、娘と同じ幼稚園に通う加藤京子さん親子と出会った。京子さんとは通園バスを待つ時間を利用して関係を深め、時にバス停で息子におさづけを取り次ぐことも。その後、さまざまな事情から京子さんの長男、正樹さんが5年前に修養科へ入り、ようぼくへ。教会長資格検定講習会(前期)も終了した。それからというもの、加藤さん親子は教会へ一層足を運ぶようになり、「生活復興支援ひのきしん隊」や「おつとめ日」など、大教会行事やひのきしんにも参加するようになった。

そして、昨年の10月の「おつとめ日」でのこと。参加していた京子さんが、「来年には絶対にようぼくになる」と、参加者らの前で宣言。5月に、晴れてようぼくととなった。

「これまでの道中、『仕事をしながらでは、ご守護も半分』とお仕込みを頂いたこともあった」と常道会長。それでも「のろまな亀」にも、こんなうれしい日を与えていただき、感無量」と話す。教祖百三十年祭まで、残すところ1年と4カ月。「定めた心を、親神様・教祖にお受け取り頂けるように、さらに努力させていきたいと心勇むばかりです」。

訃報



ホープ教会初代会長
森 直代氏(80歳)
8月18日お出直し

葬儀は、村田雄治・ブラジル伝道所長齋主のもと、8月19日午前みたまうつし、同日午後に告別式が、ホープ教会で執り行われた。初代会長として道の御用に歩まれた氏のご功績を称え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

家族みんなそろって
おちば伏せ込み団参へ
次回は9月7日(日)
10月5日(日)
10時 集合/ひのきしん実動
12時 定時のおつとめ参拝
皆さんの参加をお待ちしています

9月は、にをいがけ強調の月 「岡心勇隊」の全教会実動を！

毎年9月は、全教挙げての「にをいがけ強調の月」。各地で、戸別訪問や神名流し、路傍講演など、いつも以上に活発な布教活動が展開されます。

これまで大教会では、「にをいがけ強調の期間中、毎日、大和八木駅前で神名流しと路傍講演を実施。また、毎月の布教活動として、「岡心勇隊」を展開してきました。

布教活動を推進する有志が集い、共に活動する「岡心勇隊」。教祖ご在生当時、「心勇講」として歩みを進めていた敷島大教会からその名前を戴き、「心勇んで教祖の世界たすけの御用にとめる」ことを念願して、「岡心勇隊」は結成されました。



現在は、教祖百二十年祭の年祭活動「後半戦」。会長を先頭に、教友一同がさらなるおたすけに歩を進めることが求められています。

そこで、大教会では9月に向けて「岡心勇隊」を一手一つに推し進め、年祭活動にさらなるたすけの渦を巻き起こしていきたい」と、「岡心勇隊」の全教会実動を発表。これまでの活動区割りを見直して再

現在は、教祖百二十年祭の年祭活動「後半戦」。会長を先頭に、教友一同がさらなるおたすけに歩を進めることが求められています。

そこで、大教会では9月に向けて「岡心勇隊」を一手一つに推し進め、年祭活動にさらなるたすけの渦を巻き起こしていきたい」と、「岡心勇隊」の全教会実動を発表。これまでの活動区割りを見直して再



編し、実動日を設定。より活発な活動となるように、「推進出向者」の派遣を決め、すべての教友が歩みを進められるように計画を立てました。

布教活動は、自らが進んで実践するもので、行事的な活動になってはいけません。しかし、現実には一歩踏み出すことが難しく、思うように実動できていないのが実情です。

ぜひ、この「岡心勇隊」を活用し、年祭の旬にふさわしい布教活動を展開しましょう。そのためには、皆さん一人ひとりの協力が欠かせません。併せて、「岡心勇隊」を常時の布教活動となるように、勇んでつとめさせていただきます。

今回の地区割りの実施会場、実施日、実動時間は左記の表を参照してください。また、「岡心勇隊」のお問い合わせは、各会場の教会・担当者へご連絡ください。

「岡心勇隊」開催会場・担当者一覧表

平成26年8月23日現在

地区	教会名	主会場	実施会場担当者	実施日	実施時間
1 奈良明日香	大教会	大教会		7	15:00~17:00
2 奈良明日香	飛鳥川	飛鳥川	出口浩和	6	10:00~11:30
3 御所	忍海	忍海	岡橋岩男	9	10:00~12:00
4 高市・高田	新上、岡谷、高田、南洲	岡谷・新上		8	9:00~12:00
5 奈良	西大阪	西大阪	丸田廣也	20	10:00~11:30
6 五条・和歌山	表野、表田、相嘉、大和二見、南阿太	彩の台	芝田真一	9	10:00~11:30
7 大阪	枚方、岡道、岡萩、岡垣、岡村、道弘、道明弘 東松浦大阪、東明実、筑攝、眞澄、眞世	道弘	津田 進、奥村 孝	18	10:00~12:00
8 門司	福門、松ヶ江、福見山	福門	村田継明	1	10:00~12:00
9 八幡	住之都、筑八、貞元	住之都	江里道孝、井上明生、古賀喜子	13	10:00~12:00
10 福岡中央	西北、鶴城、鳥飼、大博、千成	西北	森川誠子、大野真也	16	10:00~12:00
11 福岡姪浜	西新、呉服町、薬院	姪浜駅前	秋山大成、清水ゆう子	14	14:00~16:00
12 太宰府	警固	警固	田原由美	1	10:00~12:00
13 筑紫	今光、紫王路	今光	吉原徳光	14	10:00~12:00
14 福岡粕屋	東志免、東水町	東志免	百済正則	15	10:00~12:00
15 福岡新宮	大空	大空	山平ミヨ子	15	13:30~15:30
16 福岡飯塚	嘉殿、須光	須光	光武松市	2	10:00~12:00
17 佐賀市内	東松浦、北佐賀、明祐、都渡城、 筑後川、肥里、肥陽	東松浦	吉田百合子、由良野志津	4	13:00~15:00
18 武雄	杵島、上橋、天神免	杵島	藤本健二、武藤聡宏	21	10:00~12:00
19 唐津	肥東、松浦郷	肥東	中島道弘	7	10:00~12:00
20 伊万里	伊萬里、西壽、香蘭	香蘭	森川清和	13	10:00~12:00
21 多久	肥城、肥前三日月、肥道、勇虎	肥城	永田良人	21	13:00~15:00
22 杵島・小城	牛津、芦刈、芦住、白石町、 江北野、東鹿島、西肥、北有明	芦刈	山内光男	18	10:00~12:00
23 佐世保	肥保、西乃島、早岐	早岐	相川桃子	8	10:00~12:00
24 埼玉	岡瀧、瀧登	岡瀧	常道久雄	1	13:00~15:00
25 茨城	界澄	界澄	北島美佐子	21	10:00~12:00
27 函館	岡館	岡館	岡崎伊都子	28~30	
28 平戸	北松浦	北松浦	出口和史	10	9:00~12:00
29 壱岐	武生水	武生水	塚元孝雄	1、8	15:00~17:00

9月23日は家族参拝デー

毎年9月は「家族参拝デー」。家族こぞって大教会に参拝し、親神様・教祖から日ごろ賜わるとご守護に感謝申し上げます。併せて、祭典後には、敬老のお祝いも。道の先輩、を囲んで、共ににぎやかな一日しましょう。



今年も笑顔いっぱい！ 「こどもおぢばがえり」 グラフ特集

期間を通して各地から1千171人（少年会員416人、育成会員755人）が帰参した「こどもおぢばがえり」。詰所では期間中、毎年恒例の「ふれあい広場」がオープンし、外部団体の利用も併せて、連日、多くの子供たちでにぎわった。10種類以上の模擬店や会場の衛生管理、食事の準備、宿泊など、「裏方」では延べ909人の特別ひのきしん者やヤングひのきしん隊らが受け入れを担当。今年も、笑顔いっぱいの「こどもおぢばがえり」となった。



午後2時の「ふれあい広場」全体ミーティング。大教会役員のお話を頂き、受け入れの気持ちを高める。



模擬店ブースでは暑さもいとわず、特別ひのきしん者が愛情を込めて調理。子供たちのお腹を満たした。



全部で6種類用意されたゲームコーナーでは、子供たちが時間を忘れて夢中に。ゲームの内容に一喜一憂する歓声に、「ふれあい広場」の中でも、一番の賑わいを見せていた。



「ふれあい広場」初日には、小西雅子さん（福門分教会）のステージも。来場された飯降政彦世話人先生ご夫妻も、ご満足のご様子。



到着、出発の際に行われる「玄関あいさつ」。子供たちに分かりやすく伝えるために、今年も映像が取り入れられた。



「ふれあい広場」オープン前の準備。衛生面にも最新の注意を払い、一つひとつ丁寧に進められる。

岡名物の「ジャンボすべり合」。子供たちにも大人気で、朝から夜まで歓声の途切れることはなかった。



期間中、多くの隊がそれぞれ大教会参拝。無事に帰らせていただいたお礼を申し上げた。



「ふれあい広場」おはなしコーナー 初の試みも大盛況

教祖百三十年祭へ向かう年祭活動のテーマに、「教祖を身近に」を掲げている大教会。少年会岡団としても「少年会員にも教祖を身近に感じてもらえる活動を展開したい」との思いから、活動方針に「教祖を身近に」を掲げ、行事プログラムを考えてきた。

今年の「こどもおぢばがえり」では、おたのしみ行事の一つとして、「ふれあい広場」の一角に「おはなしコーナー」を設営。『稿本天理教祖伝逸話篇』をもとに紙芝居風に作られた「おやさまのおはなし」（少年会本部）から5つのお話を抜粋し、独自の巨大絵本を製作。わかぎ（中学生）層中心の少年会員で構成されるヤングひのきしん隊が語り部となり、教祖のひなごたを伝えた。

「学生生徒修養会（高校の部）」より

共に学び、信仰を見つめる一週間

高校生がおぢばに集い、共に学び語り、自らの信仰を振り返る「学生生徒修養会（高校の部）」今年、岡学生会から11人が参加しました。一週間のプログラムで、友情という絆を結び、「来年も参加したい」と若者を引きつける「学修」。その魅力は何なのか。参加者の感想を紹介します。

■上田理貴（表田分教会・高校3年）

学修参加への声が掛かったとき、正直、行く気は全くありませんでした。これまでの高校生活は、野球一筋で休みはなし。夏の県予選で引退後、せつかくの夏休みを無駄にしたくないという思いでした。

しかし、周りからは「最高の友達ができる」「最後には泣けるくらい感動する」と聞かされ、半ばしぶしぶ行く事に。カウンセラーの見た目が少し怖く、顔見知りはもちろんいません。初日から帰りたくて仕方ありませんでした。

ところが、同じ班の仲間の話を聞いてみると「部活でこれまで参加できなかった」という子が多く、僕と同じ境遇。同じ班の半数が野球部出身と、会話が弾み、すぐ仲良くなりました。

起床は、これまでの生活では考えられない4時30分。それでも、仲間との会話は弾み、深夜

まで語り合っていました。

「あつという間の一週間」というのが、率直な感想です。最終日には初日から振り返りでしたが、ここまで内容の充実した一週間は、初めての経験です。最後は友達と抱き合って泣いている自分がいて、本当に「学修」はすごいところだと思いました。

「おぢばの友は、一生の友」。カウンセラーから聞かされたこの言葉は、一生忘れられないと思います。

■中溝香奈（大博分教会・高校3年）

今回、私は2回目の参加。それも、一年空いての参加だったので、とても不安でした。でも、すぐに新しい友達が出来て、とても充実した楽しい一週間でした。

今年の「学修」の大きな特徴は、台風の接近期間を通して雨がたくさん降り、予定されていた

「子どもおぢばがえり」後の丹精に

各教会で「おとまり会」開催

育つ側から育てる側へ——中学生育成の取り組み

夏の一大イベント「子どもおぢばがえり」も、盛況のうちに幕を閉じた。一方で、世間はまた夏休みの真っ最中。そんな中、各教会では「年に一度のおぢば帰りだけで終わるのは、非常にもったいない。教会へつなぐ丹精の継続を」と、「教会おとまり会」を開催。それぞれ、趣向を凝らしたプログラムが行われた。

なかでも、少年会「最上級生」の中学生にポイントを置いて開催したのは、表野分教会（蓮池弘之会長）。これまで育成会員が担当してきた司会進行や参加する子供たちの世話取りなど、「おとまり会」の運営のほぼすべてを中学生に任せられた。

プログラムは、教会の月次祭の参拝からはじまる。祭典中は小さな子供たちをまとめ、みんなで心をそろえて参拝。その後の夕食、入浴も中学生が中心となってお世話取りし、小さな子供たちを寝かせつけるところまでつとめた。

翌日は、起床、洗面、掃除と大忙し。しかし、疲れた様子も見せない中学生は、その後のプールでのお楽しみまで勤め切った（写真）。



今回のプログラム

ムについて、蓮池会長は「これまで、大人や学生のお兄さん、お姉さんに楽しませて

らい、育ててもらってきた。これからは、中学生のみんなも下の子供たちのお世話取りをつとめることで、新たな自覚も芽生える。また、神様のご守護も感じさせて頂けるはず」と話す。一泊二日のプログラムを終えて、表野隊長の蓮池理栄さんは、「小さい子が多かったから大変だったけど、学ぶことがたくさんあった。これからも、進んで世話取りを手伝い、新しい事に挑戦していきたい」と。また、恵理子会長夫人は「子供たちは大人の話より、年の近い中学生の話しを良く聞く。それに、大人の疲れ方が全然違いますよ」と笑う。

たプログラムが思うように進まなかったようです。

2回生行事の中でも、一大イベントは十三峠を歩いて越える「先人の道」。しかし、雨の影響で峠越えは困難とのこと。急ぎよ、大和郡山市の浄化センターからおぢばまでの、約6kmを歩くことになりました。歩く距離はとも短くなってしまうましたが、仲間とたすけ合い、最後まで歩くことができました。



「学修」に参加できて、本当に良かったです。「学修最高!」。この「学修」には、大学の部もあると聞きました。なので、進学したら、ぜひ参加したいと思います。

今年の「学修」には、岡から11人が参加。写真一番右が上田理貴くん。中溝香奈さんは右から3番目。

福門分教会 創立百周年記念祭

皆様のお陰により、福門分教会は、名称を戴いてから今年で百年を数え、9月15日（月）午前11時から感謝とお礼の思いを込めて、創立百周年記念祭を執り行わせていただきます。

信仰の元一日に立ち返り、教祖にお喜びいただく道の歩みとなるよう努めてまいります。ついては、福門につながる皆様には、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

福門分教会長 村田 継明

9月15日（月）午前11時



みんなで歌おう 「みちのこのうた」



「ラララ友よ うたを歌おう〜♪」
大教会では、朝夕のおつとめが始まる5分前に、全員でうたを歌っています。うたは「みちのこのうた」から選曲された20曲。老いも若きも、そろってお道のうたを歌います。

この取り組みが始まったのは、今年の5月。「教会おとまり会」で、食事の前後やおやすみ行事、誕生日のお祝いなどでうたを歌っていたのがきっかけ。また、「目前に控えた『こどもおぢばがえり』に向けて、みんなでテーマソングを覚えよう」と始まりました。

この「みちのこのうた」について大教会長は、「歌詞には、教理と道の子供たちに伝えたいメッセージが凝縮されている。みんなで楽しく歌うことで、自然と教理も身に付く」と。また、「信仰活動の一つに役立てたい」とも話しています。事実、大教会内の子供たちも次々と歌を覚え、それぞれの家庭でも口ずさんでいます。

一般的に、リラクゼーションの一つとして活用されている音楽。また、医療現場においても、疼痛緩和や気をもた

せることを目的にした音楽療法としても浸透しているようです。皆さん、みんなで一緒にうたを歌いませんか？
大教会では、歌詞カードを用意し、希望に応じて配布しています。

「みちのこのうた」

岡大教会選曲

- | | | | |
|----|---------|----|-------------|
| 1 | おやがみさま | 11 | しあわせをよろこびを |
| 2 | 親神様の守護 | 12 | 明日へ |
| 3 | いのり | 13 | ひとりじゃないよ |
| 4 | おまいり | 14 | つたえようよろこびを |
| 5 | ひのきしん | 15 | 大きな丸い輪をつくろう |
| 6 | 三つの木 | 16 | ぼくらの花 |
| 7 | ぶどうの房 | 17 | 君の笑顔にありがとう |
| 8 | 友よいつまでも | 18 | すてきなあなたに |
| 9 | こんにちは | 19 | 心つくしたものだね |
| 10 | ありがとう | 20 | 誕生日おめでとう |

「若人の集い」開催に向けて

実行員会立ち上げ

教祖百三十年祭へ向けての「三年千日」。各部・各会では、成人の旬にふさわしい歩みを進めるべく、種々活動を展開している。青年会岡分会で、「教会やお道全体のこれからの歩みを思う時、私たち若人の力が重要になってくるのではないか。そのためには、この旬に立ち上がり、確実な歩みを進めなければならない」（上田耕平・青年会委員長）との思いが芽生えたのは、年祭活動1年目の秋頃。それぞれに活動は展開されていたが、「男女の区別なく、若人が手を取り合って勢いづく活動がしたい」と思い立った。そこで、岡女子青年部と相談し、「若人の集い」の開催を決めた。

「集い」の開催日は、11月22日（土）の午後から23日（日）にかけて。二日目は、大教会の月次祭がおこなわれる日。この日は「勤労感謝の日」で祝日でもあるため、参加者全員で祭典を参拝させていただく。
これまで、「集い」開催に向けて話し合いを進めてきた青年会と女子青年部。しかし、今委員会では初めての開催とあって、思うよ

本格始動！

青年会・女子青年部

を立ち上げた。

メンバーは、大教会役員と女子青年部担当の婦人会委員、そして青年会委員と女子青年部委員。今後、プログラムなど、具体的な準備を進めていく。

今回の「集い」では、メインのプログラムに、大教会神殿上段でのおつとめまなびが行われる。参加者はおつとめ衣を着け、それぞれの役割に就いておつとめを勤める。

教祖百三十年祭へ向けて、私たち「若人」からたすけの渦を巻き起こしたい。会員の皆さん、ぜひ参加してください。そして、教会の会長様、ご家族、兄弟、知人の皆さん、どうか漏れなくお声掛けをお願いします。

「岡若人の集い」

11月22日(土)

23日(日)

会場

天理教岡大教会

内容

おつとめまなび

式典

記念講話・感話

懇親会

オリジナルチラシを手に

さあ、にをいがけに歩こう！

全教的に、活発な布教活動が展開される9月は、「にをいがけ強調の月」。大教会として「岡心勇隊」の活動が展開される中、青年会岡分会でも、たすけの渦を巻き起こすべく、布教活動を計画している。
青年会独自の活動としては、まず、9月7日から14日にかけて展開される「全分会布教推進週間」がある。これは、青年会全分会が各地で布教活動を展開するもので、岡分会としては9日（火）〜10日（水）に欠けて、関東キャラバン隊を実施予定。関東近郊の会員と共に、神名流しや戸別訪問に歩く。
また、「推進週間」中の関東以外の地域に関しては、その地域に住む委員が中心となり、実動を計画。青年会岡分会の心定め「三万人へにをいがけ」の一環で作成したオリジナルチラシを活用し、個々の実動を促す。
そのほか、岡につながる全教会実動を目的とした「岡心勇隊」へ、一人でも多くの青年会員に参加してもらえようと呼び掛け。具体的には、青年会枠として当てられた推進出向担当者が、地域の会員に声を掛けて共に参加を目指す。

雨にも負けず！最高の演奏を披露♪



高難度曲で4年連続の金賞受賞！

今年の「こどもおぢばがえり」も、お供え演奏をはじめ、オンパレード、おやさとパレードに無事に参加させていただくことができました。ありがとうございました。

8月3日のおやさとパレードは、雨模様。制服も楽器も雨に濡れ、足下も悪い中でしたが、観てくださるみなさんへの感謝の心いっぱい、最高のパレードをしてきました。その心を神様が受け取ってくださったのか、パレード中は雨が上がり、水に反射する光がより子供たちをキラキラと輝かせてくれました。パレード後は、本当に良い笑顔をしていました。



翌日も朝から雨。この日も不思議とお供演奏が始まる頃には雨が上がり、空の下で一年間の練習の成果を親神様、教祖へお供

奏させていただくことができました。そして迎えたオンパレード。演奏曲目は「レ・ミゼラブル」。難易度の高い曲で今年は勝負しました。自信に満ちた子供たちの姿に、スタッフも保護者も感無量でした。結果は見事に、4年連続の金賞。子供たちの目には涙が浮かび、抱き合っ

岡団鼓笛隊 隊員募集！



こどもおぢばがえりをより感動できるものに

毎月の鼓笛練習では、おつとめ練習のほか、ひのきしんもさせていただき、音楽を通して心を一つに合わせる大切さをお伝えします。楽しくもあり厳しくもあり。しっかりとした「ゲジメ」をつけ、仲良く和気あいあいとした鼓笛隊です。

夏の「こどもおぢばがえり」では、一年の練習の成果を親神様・教祖にご覧いただけます。新たな友達との出会いもあります。もちろんママ友も、縦の伝道の上に、ぜひ鼓笛隊をご活用ください。

海外布教隊 募金活動へのお礼

「こどもおぢばがえり」期間中に実施した、海外布教隊の募金活動。皆さまの温かいお心のもと、1万7千636円のご支援を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。引き続き、募金活動を展開してまいります。どうか、お力添えを頂きますようお願いいたします。

婦人会「伏せ込みひのきしん」

R177.7.22-23

担当係/森川 誠子(西北)

参加者/秋山 生子(西新)

七浦九三子(南肥里)

安藤 信裕(南肥里)

角 てる子(江北野)

森本 悦子(岡萩)

常道 京子(岡瀬)

常道 らら(岡瀬)

常道 あき(岡瀬)

常道 もも(岡瀬)

順不同



少ない人数ではありましたが、和気あいあいとした雰囲気。声を掛けながら、手分けして精いっぱいつとめさせていただきました。